

「冬の虹」(西村)

年末のある日、事務所の窓からくっきりと虹が見え、それぞれに写真を撮っている様子をパシャリと写真に収めました。虹というと夏のイメージがありますが、冬の虹は「時雨虹」といい、特に日本海側はこの「時雨」で天気が変わりやすく、夏の夕立と同じような状態が起こる為、第二の虹シーズンといわれるようです。虹といふとなかなか見れないので、虹を見るとラッキーな幸せな気分になり、そして何か良いことが起きそうな前向きな気持ちになります。レインボー・ステイト(虹の州)と呼ばれるハワイでは、虹は幸運の象徴として愛されていて、「No Rain, No Rainbow (雨が降らねば、虹は出ない)」、つまり「困難な出来事のもとには、きっと良いことがやってくる」ということわざがあるそうです。令和5年がスタートしましたが、このことわざを胸に刻み、この1年前向きに頑張りたいと思います。

知っところ! 「税」の マメ知識 

今月のマメ知識：【国税も手軽にPay払い】

国税は、申告した税額に基づき納税者自身が期限までに納付する必要があります。これまでは金融機関の窓口で納付したり、指定した口座からの振替による納付がほとんどでした。ところが最近ではクレジットカードやインターネットバンキングなどを利用した納付、e-Taxによるダイレクト納付、コンビニでのバーコード納付などといったいろいろな方法があります。これに加えて2022年12月1日からスマートフォンのアプリによる「Pay払い」が可能になりました。これまでもクレジットカードを使った納付はありましたが、利用者が金額に応じた手数料を負担する必要がありました。しかしPay払いでは手数料は発生せず、利用者に負担が生じません。現在、利用可能なPay払いは6種類あります。「アカウント残高を利用した支払い方法のみ利用可能」で、一度の納付での上限額は30万円です。キャッシュレス法をもとに税金など国や市町村への支払いのキャッシュレス化はますます進んでいくでしょう。



世界の偉人伝

今月の偉人：【マリ・キュリー】

キュリー夫人はポーランド出身の物理学者・化学者です。放射性物質の研究に生涯をささげ、放射能やラジウムの発見によりノーベル物理学賞と化学賞を受賞しました。2度の受賞は人類初の偉業である上、男女差別が常識の時代に女性の受賞も史上初。女性研究者の地位の確立にも貢献しました。研究の成果に特許を取らず、富や栄誉を辞退したキュリー夫人は、自らを「科学に偉大な美を見る者のひとり」と語っています。ひたすら科学の美を追い、人類に奉仕した愛の人だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【bean】

節分の豆まきは地域によって異なり“peanuts”「落花生」派と“soy beans”「大豆」派に分かれるそうです。ちなみにピーナツは“nuts”「木の実」ではなく豆の仲間です。「枝豆」は“edamame”で通じる地域もありますが“green soybeans”といいます。「豆」を意味する“bean”は「コーヒービーン」などカタカナでも定着していますね。その「豆」を使った熟語に“spill the beans”「秘密を漏らす」があります。“Who spilled the beans!?”は「ばらしたの、誰なのよ!?’という意味です。